

日本西アジア考古学会 第12回総会・大会プログラム

6月9日(土)

13:00~14:45 日本西アジア考古学会第12回総会(24B教室)

13:00~
10日15:00 ポスターセッション「西アジアにおける日本調査隊の活動と成果」
(2号棟4階ロビー)

15:00~17:00 公開講演会(24A教室)

講演1: 月本昭男 先生・立教大学教授「考古学からみた古代イスラエルの“起源”」

講演2: 金関 恕 先生・天理大学名誉教授「イスラエルにおける考古学の発展」

17:30~19:00 懇親会 会場/レオック関西(天理大学構内)

6月10日(日) [十周年記念シンポジウムⅢ・大会研究発表会]

会場/2号棟24A教室

09:00 開 場

09:20~09:30 開会挨拶 川又 正智(日本西アジア考古学会 会長)

<午前の部>

学会設立十周年記念・連続シンポジウムⅢ

「西アジア考古学の編年:日本の考古学調査団からのアプローチ(Ⅲ)ー新石器時代ー」

09:30~9:55 常木 晃(筑波大学)

「テル・エル・ケルク遺跡の調査からみた北レヴァントの新石器時代」(仮題)

09:55~10:20 西秋良宏(東京大学)

「セクル・アル・アヘイマル遺跡」(仮題)

10:20~10:45 藤井純夫(金沢大学)

「ワディ・アブ・トレイハ遺跡の調査からみた南レヴァントの新石器時代」(仮題)

10:45~11:10 三宅 裕(筑波大学)

「サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡」(仮題)

11:10~11:35 小高敬寛(東京芸術大学)

「北シリア・北メソポタミアの新石器時代の土器編年」(仮題)

11:35~11:45 休憩

11:45~12:30 総括討議

12:30~13:30 昼 食

<午後の部>

13:00～13:30 ポスターセッション・コアタイム（4階ロビー）

特別報告

13:30～13:55 桑原久男（天理大学）
「イスラエルにおける日本隊の調査－エン・ゲヴ遺跡とテル・レヘシュ」

大会・研究発表会

14:00～14:25 安倍雅史（リバプール大学大学院 博士課程）
「南レヴァント地域における都市の出現と遊牧社会の変容
－南ヨルダン、ジャフル盆地のタビュラー・スクレイパー製作址を事例として」

14:25～14:50 有松 唯（東京大学大学人文社会系研究科 博士課程）
「イラン北部における初期鉄器時代文化の流入
－触角状突起付青銅剣の分析・検討を中心として」

14:50～15:15 上杉彰紀（総合地球環境研究所）
小茄子川歩（東海大学大学院文学研究科 博士課程後期）
「インダス文明期の地域社会構造に関する一考察－クッリ式土器を手掛かりにして」

15:15～15:30 休憩

15:15～15:55 矢澤 健（早稲田大学大学院文学研究科 博士課程）
「エジプト中王国時代の祭祀遺跡における廃棄された土器について
－アブ・シール南丘陵遺跡の例とその時間的变化－」

15:55～16:20 齊藤正憲（早稲田大学本庄高等学院）
「エジプトの土器づくり民族誌－土器粘土の分析・検討を中心にして」

16:20～16:30 閉会挨拶 置田雅昭（第12回総・大会実行委員長）

*ポスターセッション

9日・10日の両日に、西アジアおよび周辺地域の発掘調査成果を中心としたポスターセッションを、2号棟4階ロビーを会場として行います。ぜひお立ち寄りください。

9日 13:00～17:00 10日 09:30～15:00

なお、ポスターセッションには各調査担当者が解説をし、ご質問にお答えするコアタイムを10日13:00～13:30に設けています。